

那須教育事務所要覧

I 組織目標

- とちぎに愛情と誇りをもち 未来を描き ともに切り拓くことのできる 心豊かで たくましい人を育てます。
- 那須の風土に根ざした児童生徒の育成が図れるよう学校を支援します。
- 令和5年度は、以下の事業に重点的に取り組みます。

II 重点事業

1 学びの場における安全を確保する

那須雪崩事故の教訓を風化させることなく、学校管理下での教育諸活動において想定外の事故が起きないように万全を期す。

- 危機意識の醸成と「危機管理マニュアル」の点検・見直しの学校支援
- 学校教育活動全般で児童生徒の安全が確保できる体制を構築
- 新型コロナウイルスの感染症対策に係る適切な対応

2 一人一人を大切にし、可能性を伸ばす

豊かな心を育む道徳教育、人権教育及び特別支援教育を推進します。また、児童生徒指導の一層の充実を図ります。

- 「豊かな心」を育む道徳教育の推進、道徳科の充実
- 人権教育指導者一般研修、人権教育担当者等研修、支援訪問等の実施
- 教職員の人権意識の高揚、指導に生かす校内研修の充実
- 特別支援教育への理解の促進、教員の指導力の向上
- インクルーシブ教育の推進
- いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止について組織的に対応
- 問題行動未然防止プログラムやネットトラブル対策事業の積極的な活用
- S S（いじめ・不登校対策チーム）とS S W r（学校配置）との連携による諸問題への対応

3 未来を切り拓く力の基礎を育む

市町教育委員会と連携し、学習指導要領の確実な実施に向け学校を支援します。また、グローバル化に対応した教育の充実を図ります。

- 学校訪問（計画訪問・要請訪問）による授業力の向上と授業改善への具体的な指導助言
- とちぎっ子学力アッププロジェクトの推進による児童生徒の学力向上
- 「那須地区教育の概要」の作成・活用
- とちぎっ子体力ジャンプアッププロジェクトの推進による児童生徒の体力向上
- 栄養教諭等による食育の推進、学校における食物アレルギーの対応充実
- 英語教育、国際教育等の充実
- 地域人材、地域資源を活用した多様な教育活動の推進

4 自分の未来を創る力を育む

キャリア教育・進路指導の充実により、自分の未来を創造する力を育みます。

- キャリアパスポートの活用促進
- 適切な進路情報の収集・提供
- 職場体験学習の充実

5 豊かな学びを通して夢や志を育む

地域理解を深める教育の充実やふれあい学習の推進により、一人一人の夢や志を育みます。

- 栃木県誕生150年を契機とした「とちぎふるさと学習」の一層の推進
- 地域人材、地域資源を活用した多様な教育活動の推進
- ふれあい学習出前講座の実施やふれあい学習情報紙「まなびの広場」の発行
- スポーツや文化活動の充実等に向けた休日における中学校部活動の地域移行の推進

6 教育の基盤を整える

教職員の適正な配置、資質・指導力の向上及び学校運営への支援を行うとともに、家庭の教育力の向上を図ります。また、「学校における働き方改革」を推進します。

- 加配措置の適切な運用、非常勤講師等配置事業に係る指導・助言
- 教員の指導力向上のための研修会、指導訪問の実施（初任者・期限付）
- 地域連携教員への支援（情報紙「エール」の発行）
- 学校と地域の連携・協働等による地域学校協働活動の推進
- 家庭教育支援プログラムの実施、家読の推進
- 研修会、会合、調査等の見直しによる勤務時間の縮減

栃木県教育委員会事務局 那須教育事務所

所在地：大田原市本町2丁目2828-4
電話：0287-23-2177（代）
F A X：0287-23-2193
Eメール：nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp
いじめ・不登校等対策チーム相談専用電話：0287-23-2194

Ⅲ 管内の状況 (令和5年5月1日現在)

1 学校数・学級数・児童生徒数・教職員数

(注) 私立中学校は含まない

市 町	小学校及び義務教育学校 (前期課程)									中学校及び義務教育学校 (後期課程)								
	学 校	学級数			児 童 数	校 長 教 諭 等	養 護 教 諭	栄 養 職 員 等	事 務 職 員	学 校	学級数			生 徒 数	校 長 教 諭 等	養 護 教 諭	栄 養 職 員 等	事 務 職 員
		通 常	特 別 支 援	計							通 常	特 別 支 援	計					
大 田 原 市	19	150	35	185	3,311	272	22	5	21	8	57	20	77	1,744	152	8	4	9
那 須 町	6	42	13	55	875	80	6	1	6	2	15	7	22	431	39	2	2	3
那 須 塩 原 市	19	214	65	279	5,936	394	17	0	19	10	98	31	129	3,041	240	12	6	12
計	44	406	113	519	10,122	746	45	6	46	20	170	58	228	5,216	431	22	12	24

2 特別支援学級設置

市 町	小学校及び義務教育学校 (前期課程)			中学校及び義務教育学校 (後期課程)		
	設 置 校	学 級 数	児 童 数	設 置 校	学 級 数	生 徒 数
大 田 原 市	16	35	144	8	20	77
那 須 町	6	13	54	2	7	23
那 須 塩 原 市	19	65	365	9	31	164
計	41	113	563	19	58	264

3 へき地・準へき地・特別地域校

へき地
須賀川小学校

Ⅳ 栃木県教育行政の基本方針

1 『栃木県教育振興基本計画2025—とちぎ教育ビジョン』の基本的な考え方

栃木県教育委員会では、令和3年度から令和7年度までの5年間の本県教育行政が目指す基本的方向を明らかにすることを目的として、「栃木県教育振興基本計画2025—とちぎ教育ビジョン—」を策定しました。このビジョンは、教育基本法に基づく本県の教育振興基本計画に位置付くものであり、栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」の教育行政分野における計画となるものです。教育をめぐる社会の状況等を踏まえ、今後5年間の本県教育行政を以下のような基本的な考え方に基づいて進めていきます。

計画の基本理念

現在、技術革新やグローバル化が急速に進み、社会の大きな変革期にあります。また、気候変動の影響などもあり、未来を正確に予測することは一層難しくなっています。そのような中でも、子どもたちには、明日の希望をもって、たくましく生きてほしいと願います。予測困難な時代をたくましく生きていくためには、次のことが必要になると考えます。

- ・自分の目指す未来を自ら描く力を身に付けること
- ・描いた未来を実現するために必要な力を身に付けること
- ・多様な他者と協働して創造する力・心の豊かさを身に付けること

この基本理念を具現化するため、次の基本目標を設定します。

〔基本目標〕

- ・学びの場における安全を確保する
- ・一人一人を大切に、可能性を伸ばす
- ・未来を切り拓く力の基礎を育む
- ・自分の未来を創る力を育む
- ・豊かな学びを通して夢や志を育む
- ・教育の基盤を整える

この基本目標の実現に向け、市町教育委員会、関係教育機関・団体との緊密な連携の下、県民各層の理解と協力を得ながら積極的に教育施策を推進します。

2 栃木県人権教育基本方針

人権は、「人間の尊厳」に基づく人間固有の権利である。我が国の人権に関する現状を見ると、性別、社会的身分又は門地等による不当な差別が今なお存在し、また、少子高齢化、国際化、情報化等の社会の変化に伴い、人権に関する新たな課題も生じてきている。これらの課題を早急に解決して、一人一人の人間が尊厳をもつかけがえのない存在であるという考え方が尊重され、守られる社会を作っていくことが求められている。

栃木県教育委員会は、人権の共存を人権尊重の理念とし、人権教育を人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動ととらえ、人権教育が、様々な人権に関する課題解決において極めて大きな役割をもつとの認識の下に、日本国憲法並びに教育基本法の精神にのっとり、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律等を踏まえ、次の基本方針により人権教育を推進する。(栃教委 H13. 11. 6決定)

- ① すべての学校すべての地域において、人権尊重の精神の涵養を目的に、組織的、計画的に推進されるよう、推進体制の整備・充実を図り、積極的な推進に努める。
- ② 学校教育においては、児童生徒の発達段階に即しながら、各教科等の特質に応じ、学校の教育活動全体を通じて、人権尊重の理念について理解を促すように努める。
- ③ 社会教育においては、生涯にわたって人権に関する多様な学習機会を提供し、人権尊重の理念について理解を深めるように努める。
- ④ 指導者の養成及び研修については、計画的に実施し、資質の向上に努めるとともに、その活用を図る。
- ⑤ 各実施主体は、生涯学習の観点に立ち、学校教育、社会教育及び家庭教育のそれぞれの主体性を尊重しつつ、相互の連携を図り、総合的かつ効果的な推進に努める。
- ⑥ 推進に当たっては、学校や地域の実情等に応じ、人権に関する現状を正しく把握して取り組むとともに、教育の中立性の確保に努める。

V 各課の取組

1 学校支援課

(1) 目 標

管内市町教育委員会や各小・中学校及び義務教育学校並びに関係教育機関・団体との緊密な連携を図り、学習指導要領の趣旨を踏まえ、生きる力を育む特色ある教育活動が展開できるように、学校及び市町教育委員会を支援します。

(2) 重点事項と具体策

- ア 確かな学びを育む学校教育の充実に向けて、市町教育委員会と連携して、学校を支援します。
- イ 豊かな心と健やかな体を育むための教育が充実するよう、各種研修を実施し、学校を支援します。
- ウ 児童生徒が学校生活に適應できるよう、各種事業・研修を実施し、学校を支援します。
- エ 児童生徒の命を守ることを第一に、学校教育全般にわたる安全管理の徹底に向け、学校を支援します。
- オ 教職員の適正な配置を行うとともに、資質・指導力の向上を目指し、各校の学校運営を支援します。

(3) 主な事業

(令和5年4月1日現在)

No.	名称	目的	期日・会場	主な内容
1	計 画 訪 問	各学校が主体的に、より充実した教育活動や特色ある学校づくりが推進できるよう支援する。	5月～11月 ・小学校9校 ・義務教育学校0校 ・中学校8校	・那須地区管内17校訪問 ・研究授業、授業研究会等
2	期限付採用教員研修会	講話や演習を通して、現在の教育課題についての理解を深める。	5月11日(木) ・栃木県庁那須庁舎	・講 話 ・研究協議
		研究授業や授業研究会を通して、期限付採用教員の学習指導等の指導力向上を図る。	6月～12月 ・各学校を訪問	・研究授業 ・授業研究会
3	那 須 地 区 人 権 教 育 研 修 会	人権教育のすすめ方や人権教育主任の役割等について認識を深めるとともに、各学校の人権教育の推進状況や各教科等における具体的な指導の在り方について研究協議することで、本地区における人権教育の一層の充実を図る。	6月1日(木) ・栃木県庁那須庁舎	・講話 ・ワークショップ ・研究協議
4	初 任 者 研 修	授業参観、授業研究会等を通して、日頃の授業を振り返り、学習指導に関する教員としての資質・能力の向上を図る。	6月30日(金) ・東小学校、西那須野中学校	・授業参観 ・授業研究会
		児童生徒のそれぞれの人格のよりよき発達を目指すために、児童生徒指導の進め方について理解する。	7月21日(金) ・栃木県庁那須庁舎	・講話 ・演習
5	那 須 地 区 児 童 ・ 生 徒 指 導 推 進 研 修 会	児童生徒の自己実現の促進や児童・生徒指導体制づくりの推進及び児童生徒理解の工夫や問題傾向をもつ児童生徒の指導の充実など、実践的な研究を行う。	9月26日(火) ・西那須野公民館	・講 話 ・研究協議
6	栃木県教育課程研究集会	学習指導要領の趣旨の実現を目指し、教育課程の編成及び実施上の諸問題に関する研究協議等を行い、各学校における教育課程の適切な実施に資する。	【小学校】 8月4日(金) ・黒田原小学校 【中学校】 7月31日(月) ・三島中学校	・全体説明 ・研究協議
7	事 務 所 主 催 中 堅 教 諭 等 資 質 向 上 研 修 (教 職 10 年 目 研 修)	「心の教育」の推進における道德教育の重要性を認識し、道德の授業における指導力向上を図る。	8月10日(木) ・栃木県庁那須庁舎	・教材分析 ・学習指導案検討 ・研究協議等
8	那 須 地 区 教 務 主 任 研 修 会	学校の実態に応じた特色ある教育課程の編成の在り方について研究協議し、教育課程の改善を図る。	11月30日(木) ・栃木県庁那須庁舎	・講話 ・班別協議等

2 ふれあい学習課

(1) 目 標

那須地区における『ふれあい学習』の推進を通して、那須地区の生涯学習・社会教育・生涯スポーツの振興を図ることにより、学校・家庭・地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育みながら、家庭・地域の教育力の向上と地域づくりを目指します。

(2) 重点事業と具体策

(令和5年4月1日現在)

① 家 庭 教 育 の 充 実	② 生 涯 学 習 の 推 進	③ 学 校 支 援
◎ 家庭教育支援 ・ 家庭教育支援プログラム（親学習プログラム）の活用等 那須地区家庭教育支援プログラム指導者フォローアップ研修【8月31日(木) 那須庁舎】 ・ 家庭教育オピニオンリーダーの支援及び研修会の開催 那須地区家庭教育オピニオンリーダー研修会【10月3日(火) 那須庁舎】 ・ ホームページによる情報提供 ◎ ふれあい学習出前講座の実施	◎ 学校と地域の連携・協働の推進（学校を核とした地域づくりの推進） ◎ 那須地区ふれあい学習ネットワークの開催（「子どもの読書活動の応援」） 那須地区ふれあい学習ネットワーク兼地域コーディネーター養成研修【令和6年2月6日(火) GUNIE三島ホール】 ◎ ふれあい学習出前講座の実施	◎ 学校と地域の連携・協働の推進（地域とともにある学校づくりの推進） ◎ 地域連携教員（社会教育主事有資格教員等）と生涯学習・地域連携係等への支援 ・ 元気アップ情報紙「エール」の発行 ・ 那須地区地域連携教員研修及び那須地区社会教育主事有資格者ステップアップ研修Ⅰ【9月4日(月) オンライン研修】 ◎ ふれあい学習出前講座の実施

VI 組織及び関係機関

1 那須教育事務所

所 長	田 崎 建 文
所長補佐（総括）	山 口 恵 美 子
総務課	課 長（兼） 山 口 恵 美 子
	副主幹 小 室 信 子
	主 任 吉 田 有 喜
	主 事 永 峰 一 樹
	〃 小 西 裕 子
	入力事務員 田 角 り か
学校支援課	所長補佐兼課長 井 上 文 浩
	副主幹 金 沢 幸 江
	副主幹 橋 本 直 子
	副主幹兼管理主事 屋 代 聖 之
	指導主事 寺 崎 裕 史
	副主幹(TL) 佐 藤 陽 介
いじめ・不登校等対策チーム	指導主事 渡 邊 卓 郎
	スクールサポーター 高 萩 和 幸
	〃 室 井 健 一
ふれあい学習課	所長補佐兼課長 横 田 洋 勝
	副主幹 田 辺 剛
	〃 室 井 雅 史
社会教育主事	小 泉 和 之
那須地区市町教育委員会連合会	書記 君 島 明 美

3 各市町校長会長

市町	氏名	勤務校
大田原市	森 秀 明	両郷中央小学校
那須町	渡 邊 法 子	田代友愛小学校
那須塩原市	猪 瀬 美 佐 緒	大原間小学校

4 那須地区校長会役員

役職名	氏名	勤務校
会長・中学校部会長	渡 邊 康 成	黒磯中学校
副会長・小学校部会長	藤 原 真 理 子	西原小学校
小学校副部会長	郡 司 一 弘	大田原小学校
中学校副部会長	菊 地 孝 行	黒磯北中学校
書 記	海 老 澤 康 雄	埼玉小学校
〃	相 馬 幸 男	西那須野中学校
会 計	佐 藤 慶 子	湯津上小学校

2 管内市町教育委員会一覧

市 町	教育委員会	事務局
大 田 原 市	教育長 篠 山 充	教育部長 君 島 敬
	教育長職務代行 深 澤 道 昭	教育総務課長 羽 石 剛
	委 員 川 上 聖 子	学校教育課長 小 室 和 徳
	〃 小 林 朋 子	生涯学習課長 岡 一 弘
	〃 森 泉	兼中央公民館長 墨 谷 薫
〃 渡 邊 英 憲	文化振興課長 大 島 実	
那 須 町	教育長 平 久 井 好 一	学校教育課長 佐 藤 英 樹
	教育長職務代理者 大 森 源 一 郎	生涯学習課長 島 村 育 男
	委 員 菊 地 昭 一	こども未来課長 大 森 貴 之
	〃 菊 地 厚 子	
	〃 金 田 裕 美 子	
那 須 塩 原 市	教育長 月 井 祐 二	教育部長 磯 真
	職務代理者 臼 井 祥 朗	教育総務課長 金 子 嘉
	委 員 神 島 仁 誓	参事兼 学校教育課長 松 本 正 広
	〃 大 澤 真 弓	生涯学習課長兼青少年センター所長 佐 原 勝 美
	〃 田 村 伸 之	スポーツ振興課長 和 氣 広 美
〃 遠 藤 優 美		

5 那須地区教育関係諸団体

団 体 名	会 長	事 務 局
那須地区市町教育委員会連合会	大 森 源 一 郎	那須教育事務所
那須地区小・中学校長会	渡 邊 康 成	埼玉小学校
那須地区小・中学校長会小学校長部会	藤 原 真 理 子	市野沢小学校
那須地区小・中学校長会中学校長部会	渡 邊 康 成	那須中央中学校
那須地区小・中学校教頭会	須 藤 敦	市野沢小学校
那須地区学校事務職員研究会	君 久 美 子	川西小学校
那須地区学校体育連盟	加 藤 勝 二	若草中学校
那須地区教育研究会	君 島 芳 一	大田原高等学校
那須地区養護教育研究会	白 井 由 美	豊浦小学校
中高教育連絡協議会	吉 永 規 生	黒磯南高等学校
〃	渡 邊 康 成	黒磯中学校
那須地区学校給食研究会	明 澤 伸 宏	大田原中学校
那須地区学校保健会	車 田 宏 之	大田原小学校
栃小教研那須支部	矢 板 当 美	西小学校
那須地区中学校教育研究会	菊 地 孝 行	黒磯北中学校
那須地区中学校文化連盟	菊 地 孝 行	黒磯北中学校
那須地区特別支援学級手をつなぐ親の会	古 賀 恒	西小学校
那須地区へき地複式教育研究会	相 澤 茂 子	羽田小学校
那須地区学校図書館協議会	和 田 る み 子	佐久山小学校
那須地区文化協会	田 中 和 夫	大田原市教育委員会
那須地区公民館連絡協議会	岡 一 弘	大田原市教育委員会
那須地区PTA協議会	石 川 清 英	黒羽小学校
那須地区スポーツ協会	榎 本 建 司	那須塩原市教育委員会